

# おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな  
・アルプス訪問看護ステーション

2019

8

第33巻8号  
(通巻384号)



ブドウ栽培とワイン造りを見にポルトガルへ行ってきました。訪ねたのはポートワインで有名なポルトガル北部、ドウロ川の流域です。スペインを源流にポルトガル北部を横断し大西洋に注ぐ大河ドウロ川の中流域はローマ時代からブドウ栽培が盛んでした。平らな土地はほとんどなく、山の斜面に石を積んだ段々畑が流域を埋め尽くしています。石垣の総延長距離は数万キロにも及ぶといえます。石灰岩質で石ころだらけの痩せた土地ですが、日照量が多く寒暖の差が激しい気候がブドウ栽培には適しているとか。しかし機械化が難しく手作業の厳しい労働に支えられて栽培は続けられてきました。訪ねた6月後半はちょうど摘房作業の時期でした。垣根作りのブドウの木に取り付いてたくさんの人たちが作業をしていました。「辛い作業もみんなでおしゃべりしながらやれば楽しいよ」と日焼けした赤ら顔のおじさんが愛想よくこたえてくれました。



峡西病院の理念

「その人らしさ100%」

峡西病院の方針

1  
説明と納得の  
医療

2  
多職種の連携

3  
「ここちよさ」の追求

4  
社会参加の推進

# 日本精神科学術集会に 参加して

まず、2年間看護研究をさせてもらえてありがとうございました。勤務時間を使わせてもらって研究をしている間、他の職員がその分職務に当たってもらっていました。アスピール病棟・リスタート病棟の職員、また研究にあたり色々な相談をさせていただきました入倉主任にこの場を借りて御礼申し上げます。

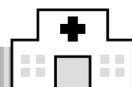
今回長崎県に研修に行かせてもらうと言うことで、「移動が大変ですよ」なんて言いながらずっとわくわくしながらその日を待っていました。家族も同行してくれることもあり、なかなかいけない九州を満喫させてもらいました。雲仙の温泉、佐世保のハウステンボス、九十九島の遊覧と中華街の長崎ちゃんぽんとめぐる場所も多くて本当に良い思い出となりました。

研修の発表も緊張しながらですが無事に終了。他施設の禁煙の取り組みや報告を聞いていましたが、気が抜けたのか後から他施設でどんな話があったのかほとんど覚えていません。

ん、こんなこと書くと怒られるかもしれませんが。

禁煙は当院において「時代の流れ」だったのかもしれない。煙草があることが「普通」や「日常」であり、それが良からうと悪からうと昔からなじみのある物を無くすことはとても難しいことです。峡西病院としてどのように変わっていくのが楽しみです。

リスタート病棟 小松 郷



# 一回看護体験



一日看護師体験が6月19日に行われ、巨摩高校の学生さんが11名参加しました。白衣に身を包み、各病棟に分かれて血圧測定や患者さんとの会話を体験し、午後からは作業療法室で風船バレー大会をしました。参加者の感想を紹介します。

**松浦花乃さん**…患者さんもそれぞれいろんな悩みを抱えていることが、患者さんと話して気づけたので良かったです。

**河野鈴さん**…初めて精神科に来てみて、精神科は遠いようでも近く、自分もなり得る可能性が大いにあることを強く実感しました。

**井上紗貴子さん**…初めて精神科に来て、たくさんの患者さんと関わることで進路に繋がる良い体験をすることができた。

**楠尚登さん**…峡西病院で看護のことを知ることができてよかったです。担当の方も優しくとてもよかったです。

**荻野遥さん**…仕事の大変さ、やりがいを感じる事ができた。この体験をいかして、立派な看護師になれるように頑張りたい。

**内田美希さん**…思っていたより大変で忙しかったけど、雰囲気がとても明るくて看護に対する気持ちが強くなった。

**永沢里桜さん**…患者さんとのコミュニケーションが楽しかった。看護師は大変だけどやりがいのある仕事だと思った。

**土屋有瑛さん**…看護師体験を通して仕事の大変さだけでなくやりがいを学ぶことができてよかったです。

**清水笑奈さん**…とても大変だったけど、人のために働くことの達成感はとても大きいのだと思った。

**石橋愛梨さん**…看護師という仕事は改めて誇りを持てる仕事だと思った。この体験を日々の生活に活かしていきたい。

**深澤優里さん**…大変な仕事はたくさんあるけど、患者さんのお話は楽しかったしとてもやりがいがある仕事だと感じました。



平成30年度 目標管理発表会



最優秀賞
リスタート病棟
佐野喜久美・森澤 誠
平田 愛

テーマ

退院3ヶ月以内の再入院を減らす

テーマにそった挑戦目標3つ

- 1 退院時期の検討を行う為のチェックシートの作成
2 退院者の退院先に対してBPPSDサマリーの提供を行う
3 退院先の決まった患者の施設見学を行う

共通した目標設定の背景

当院退院時は問題なく落ち着いていても、施設入所後適応できず退院後3ヶ月以内に再入院となる現状がある。退院に向けた関わりを見直しと共に、退院先でも長期に渡り落ち着いた生活を送れるようにするにはどうしたらいいのかと考えた。

1 退院時期の検討を行う為のチェックシートの作成

再入院を防ぐためにチェックシートを作成し、再入院を30%以下にする。

実行

- 1 チェックシートを基に、火・水のパスマーケティングにて退院時期の検討を行った。
2 介護職員に月替わりでチェックシートの準備をしてもらった。
3 パスマーケティングにおいて、BPPSDチェックシートを曜日ごとに分けて入れるように工夫した。

結果

- 1 BPPSDの「細かい内容」頻度「程度」が目で見分けるようになり、患者のBPPSDを即座に把握出来たことで退院時期の検討に繋がった。
2 1月〜3月で15名の退院患者があり、3ヶ月以内の再入院となったのは2名であり、13%であった。

3 評価した内容を共有できるように電子カルテ上での運用

Table with columns: 項目, BPPSD評価表 (種別), 氏名. It lists various symptoms and their frequencies/degrees.

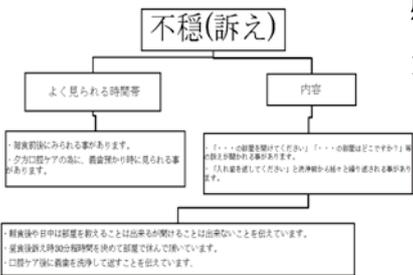
を検討していきたい。

2 退院先に対してBPPSDサマリーの提供を行う

- 1 退院時BPPSDサマリーのマニュアルを進める。
2 退院先にアンケート調査を行う事で退院先でも同様のケアを受けられ、落ち着いた生活を送れるようにする。

結果

- 1 どの介護職員でもBPPSDサマリーを作成できるようになった。
2 退院先よりBPPSDサマリーの評価や改善点などの要望を受けることが出来た。
3 個別性のあるBPPSDサマリーを作成でき、それを退院先に提供できた。
4 同じBPPSDでも患者によって対応方法が違う為、簡略化できないことが分かった。書式や内容を文章化する事の難しさも挙げられ今後も意見交換が必要であると感じた。
5 病院と施設の違いを知る必要性を感じた。



3 退院先の決まった患者の施設見学を行う

- 1 退院先の決まった患者の施設への担当職員と共に見学を行う。
2 施設見学を行い、情報提供オリジナルブックを作成し、本人に合った施設選びに活用する。

実行

施設見学時には「どんなところを見てくるのか」「何を聞いて来るのか」などまとめた紙とカメラを持参し施設見学を行った。

結果

- 1 施設の特徴や特徴を知ることができた。また施設ごとに要望が違っていた。
2 患者に合った施設提供の為にオリジナルブックを作成することができた。



今後の展望

今回の退院に向けた関わりはもろんの事、退院してからも患者、家族、施設の職員など関わりを持つ全ての人の安心した生活に繋がっていききたいです。

# OTだより

## 七夕ゲーム大会



7月3日(水)毎年恒例の七夕ゲーム大会を行いました。病院で行われる大きな行事の一つです。射的の鉄砲は、ダンボールの筒をベースにしているとは思えないほど本物そっくりで老健OTさんのお手製です。はじめて見た人はとても驚きます。そして、毎年参加している皆さんがとても上手で2度驚きます。今年も朝早くから並んでいたクレル病棟の皆さんに用意した賞品は次々とゲットされていきました。また、今年も大勢の皆様とジャンケンをしてくださり、お相撲さんとして参加してくださいました有志の皆さんありがとうございました。七夕ゲーム大会に寄せての記事も届きましたのでご紹介します。「七夕の飾り作り」では、書く事がなかなか浮かんできません。「織姫」「彦星」これだけでもいいね。ゲームは色々で「射的」、ランドゴルフ、ピンボール、じゃんけんがあります。全部賞品をもらいました。いい点数で瓶のコーヒーをもらいました。ランドゴルフではボールが通過して歯磨き粉をもらいました。うれしい七夕祭でした。

## ブリエ病棟 バーベキュー大会



7月2日(火)にブリエ病棟ではバーベキュー大会を行いました。梅雨の合間で天気がいまひとつでしたが、雨が降ることなく、芝生広場で開催することが出来ました。約40名の患者様がOTホールと芝生広場でバーベキューを楽しみ、前半は職員が中心に野菜や牛肉・豚肉を焼き、後半は患者様自身でお肉を焼きました。みな、普段と違う環境だったため、少し緊張したような印象でしたが、焼いているときはとても良い表情で楽しんでいました。また、締めは焼きそばで、とてもおいしかったようで、「もっと食べたかった」と意見がありました。また、来年も楽しく開催できるように患者様の意見を大切にして次に活かしたいと思えます。



## デイケア Channel チャンネル

### 今月のデイケア活動紹介



#### 《プログラム名》

ホールインワンサークル

#### 《活動日》

木曜日(午前) 月一回

#### 《内容と魅力》

ランドゴルフの道具を使って、約十五メートル先にあるホールポストへ「一打」で入れることを目指します。最終的な打数は関係なく、ホールインワンを出した回数だけを競うというシンプルルールで行っています。半年間の結果を累積して、表彰を行います。

一打に込める集中力と繊細な力加減が試される活動です。自分自身や周囲の状況に惑わされることなく、自分の目指すゴールに向けて一心に突き進み、得られる達成感、それこそがこの活動の醍醐味です。このサークルはランドゴルフを定期的に行ってみたいという熱い声を上げたメンバーによって今年立ち上がったばかりのプログラムです。

# ろうけん *Times* ★

梅雨入りし蒸し暑い日が続いていますが、老健では外出しデザートを食べに行ったり、紫陽花を見に行ったりしました。また、出前で取り好きな物を食べたり手巻き寿司を作ったり暑さに負けず過ごしています。



# 本の紹介コーナー

今月号は、恵風さん（ブリエ病棟入院中）の本の紹介です！

## 本の題名：神さまからのプレゼント

（恵風／涙工房／2014年12月25日）

### ●出版したきっかけ

障がい者文化展にて、知事賞や議長賞、奨励賞などを数回に亘りいただいたことが、拙著制作のきっかけとなっています。自分自身と向き合うことが詩文づくりで適うこと、それと、自らの癒しになることが継続して適って、叶うのでつくった本です。よろしかったら、手にとってみてください。

### ●おすすめのポイント

わたしの詩文は、その時々のおもいを紙面に書いて、自らの癒しにしてきました。なぐりがきで書き記してきました。「あとがき」にも書かせていただいた『つらく、苦しく、かなしく、虚しく、せつない時にも、詩文はわたしによりそい、つれそってくれた存在でした。わたしの詩文は、わたし自身の生きることへの応援歌のような存在でもあるのです。』と、いうおもいで書き記しつづけています。精神科のスタッフの皆さんにも、一度、読んでいただけたら・・・と、おもっています。作文が、小・中学生の頃、少しも書けずにいたわたしが本を制作できたことは、この病になって書くことを自ら覚えていった経緯があったからです。もしも、読んでいただけたら、とてもありがたいです。

#### 恵風

恵の風  
恵風  
二月の異名  
万物の春  
と教え

#### 帯文

大きな存在との対話が  
こころを耕してくれます。  
こころには  
祈りのメッセージが  
こめられています。  
～こまつ かん～



特定医療法人南山会は常によりよい医療を行うことによって、地域社会に貢献することを目的として設立されたものである。職員は常に技術の向上に心掛けるとともに、知性を磨き品性を養い、自己の人間形成に努めるべきである。

#### ■ 職業倫理

1. 患者の人格の尊厳と権利を尊重し、心のこもった対応をして信頼を得ること。
2. 最善の医療を提供するために、常に学術的知識と技術の習得に努めること。
3. 自らの義務と責任を自覚して人格を高めること。
4. 職場内外の医療専門職の権利を尊重すること。
5. 医療の公共性を重んじて地域社会に貢献するとともに、法規範を遵守すること。
6. 良質の医療を提供するために、自ら心身の健康保持と増進に努めること。
7. 精神障害者に対する理解を深め、精神障害者とその障害を克服して社会復帰をし、自立と社会経済活動への参加をしようとする努力に対して協力すること。

社会人になったばかりの頃は車やバイクをいじること・乗ることが好きで、暇を見つけてはどこかに出かけてみたり、新しいパーツを取り付けたりして過ごしている事が多かった。それと同時にバス釣りをやってみたり、テニス、バトミントンをやってみたり時にはアニメの影響でギターを買ってみたり（弾くことは出来ない）カメラを買ってみたりとやりたい事や気になることは手当たり次第挑戦していった。最近ではスノーボードにハマり冬は休みの大半はどこかにかけていた。

これからも新しい事に挑戦していく事

※今月の「万華鏡」はお休みです。

当法人では、令和元年12月竣工を目指し、新棟の建設工事をおこなっております。

面会に来られたご家族の方、外部のスタッフの方などから「何を建てているんですか?」「新しい病棟ができるんですか?」などご質問をいただくことがあります。新棟は1階が『外来棟』、2階が『リハビリ棟』となります。来院される方々と当法人スタッフが使いやすく、過ごしやすい環境となるように現在内装等を検討しているところです。

皆様には工事中ご迷惑をお掛けいたしますがご理解とご協力をよろしくお願い致します。

私の趣味

を続けていきたい。一生をかけるような趣味はまだないがそんな趣味が見つければ素敵だと思う。

こんな趣味をお勧めしますと言う方は教えてください。

今度やってみようと思うのはコーヒー屋巡り、和菓子屋巡り、御朱印巡りを考えている。まだ自分の時間が取れるうちに愛車にまたがりお気に入りの場所を見つけてみたいと思う。おすすめの場所を知っている方は教えてください。

アスピール病棟 杉山 晃大



着々と工事が進んでいます。



外の通路が狭くなっています。気をつけてお通りください。

こちら編集室

先日、令和初の台風が発生したとニュースが流れていました。関東には上陸しませんでした。台風が発生したとニュースで聞くと夏が近づいている、今年も猛暑になるのかと、考えてしまいます。

今年5月のGWより夏日になり熱中症で亡くなる人もいました。その度、異常気象と何回も耳にしています。今年の夏はどうなるでしょう。

夏は暑いだけではありません。海、花火大会、お祭りといイベントが盛りだくさんです。ビアガーデンで飲むお酒は美味しい!!はず、私はお酒を飲まないのが気分だけです。

7月1日には富士山の山梨側で山開きがありますが1日には富士山の山頂に登れないと発表されました。山頂近くの石積みが崩落し、登山道をふさいでいる事が原因だそうです。登頂が制限されるのは10年ぶりだそうです。復旧工事も山頂付近の積雪で見通しが立っていないとのこと。8・5合目までしか登れないようです。また、秋の台風24号で山頂手前の久須志神社付近にある溶岩の石積みが崩れ、登山道をふさぎ2体あったこま犬像のうち1体がなくなりました。(7月10日から全登山道が開通したようです)

最後に、梅雨などの高温多湿となる時期は食中毒にも気をつけなければなりません。夏場は細菌による食中毒が多いそうです。下痢のほかに嘔吐や発熱、激しい腹痛を伴う時は重症のケースも考えられるので早めに受診をしましょう。

**今月の予定 8月**

- 1日 クリニカルパス委員会
- 8日 治療プログラム委員会
- 19日 労働衛生委員会
- 20日 暮らし応援会議

**今月の一枚**



今年は梅雨が長く、中庭に咲いたヒマワリもしょんぼりしています。おあしす8月号がみなさんの手元に渡る頃には、真夏の暑さが訪れているでしょうか？

**おあしす広場**

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

のんびりと 住める国にて **かなぶんや 今福 和人**

洗濯物 終る音部屋 の中にて **大森真知子**

耳に入りて 梅雨の干し物 **カナメ**

感謝して 学んだ言葉 ありがとう **恵 風**

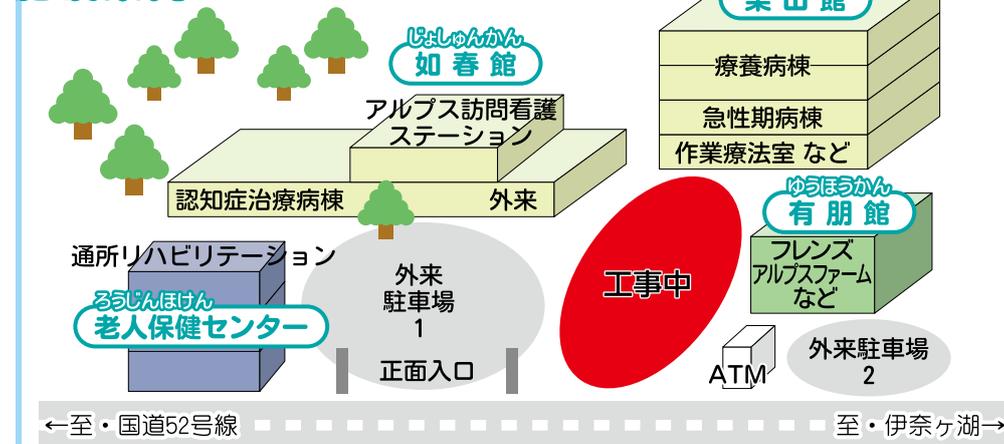
もぎたての茄子手籠になきにけり **塚原 光明**

たのしいな年に数度のバーベQ大会 **羽村 茂**

ふうりんは すずしげな風 **ひびく音 渡辺 あき**

※掲載は五十音順です。

**施設案内 ※敷地内全面禁煙です☹**



**交通案内**

- JR中央線 甲府駅より車で40分
- JR身延線 東花輪駅より車で15分
- 中央高速 甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道 南アルプスICより車で5分
- 山交バス 甲府-南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鵜沢営業所行き (西野経由) 鵜沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第384号 1987/9/5創刊

発行所 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421  
 TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886  
 URL <http://www.nan-zan.or.jp>

特定医療法人 **南山会**

\* 広報委員会 \* 若杉 雄司、櫻井 千恵、坂本 幸廣、近藤 忠彦、佐藤和加子、武井 美帆、山宮富美子、河西 崇子

次回385号も  
お楽しみに!